

第10回噴火湾ホタテガイ情報 (2012年) 発行日：平成24年12月5日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場、胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

噴火湾底層の貧酸素状態は解消されました。水深5m以浅は水温約10℃・塩分33.6で、ほとんど環境変動がなく、ホタテガイがストレスなく成長できる状況と考えられます。

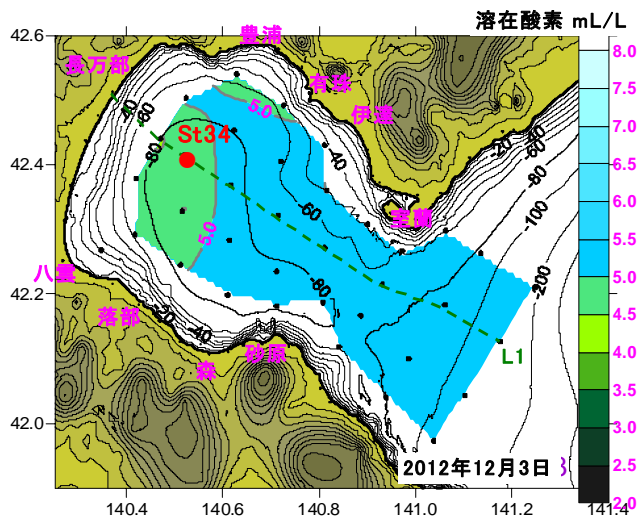


図1. 海底上5mの溶存酸素濃度分布(12月3日)

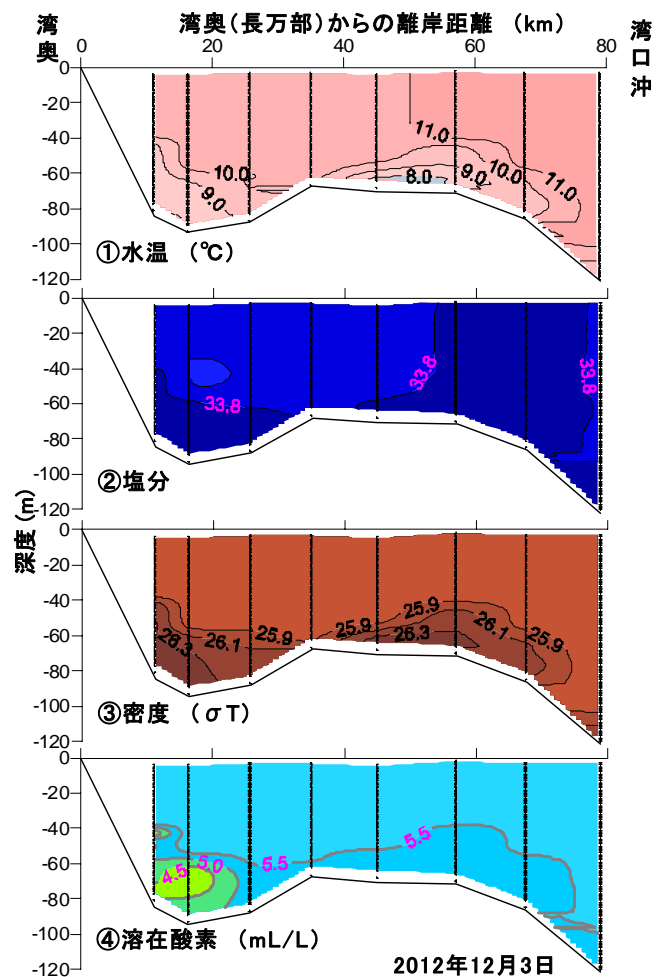


図3. 噴火湾縦断面(図1のL1)の環境変量分布

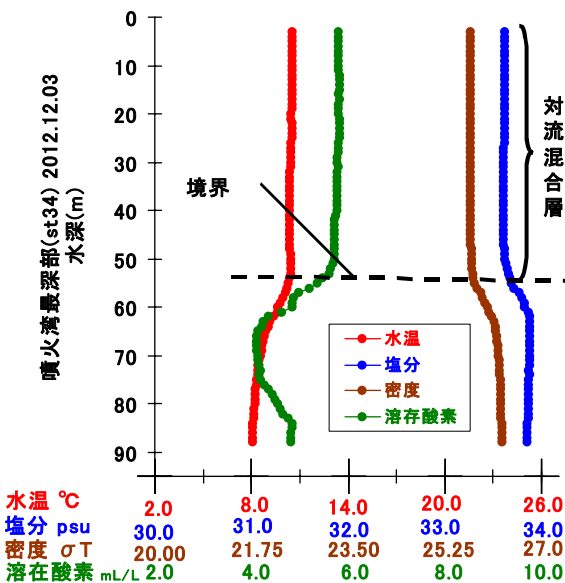


図2. 湾央 St34 における環境の鉛直分布(12月3日)

【概要】12月3日に金星丸(函館水産試験場試験調査船)により、噴火湾沖合の海洋環境調査を行いました。底層の貧酸素状態は解消されました(図1、図3④; 貧酸素水の目安は2~3mL/L)。湾内は、水深55m以浅は対流混合層で水温約10℃・塩分33.6と環境は一定で安定しており(図2)、ホタテガイはストレスなく成長できる状況だと考えられます。また、水深55~90mでも水温8~10℃・塩分33.7~33.9と環境変動は小さい状況です(図2)。湾口から湾奥まで、塩分33.6~33.8と高塩分の津軽暖流水で占められています(図3②)。

次回の全湾の環境調査は、2月の中旬に、釧路水産試験場の北辰丸により実施する予定です。

(連絡先：北海道立総合研究機構 函館水産試験場 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・金森・佐藤)

この情報は函館水試のホームページからもご覧いただけます。 <http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>